

JANNET研究会

「CBRと日本の地域福祉」 に関する対話



Hiroyuki SHIRINASHIHAMA
尻無浜 博幸（松本大学）
2012.02.29



松本市奈川地区：上質なそばの故郷



回もなく出荷、平均80日で出荷となります。



ソーシャル・ビジネス（社会的企業）

- **(1)社会性**

現在解決が求められる社会的課題に取り組むことを事業活動のミッションとすること。

例えば・・・環境問題、貧困問題、少子高齢化、人口の都市部への集中、ライフスタイルや就労環境の変化に伴う高齢者・障害者の介護・福祉、共働き実現、青少年・生涯教育、まちづくり・まちおこし等々・・・

- **(2)事業性**

(1)のミッションをビジネスの形に表し、継続的に事業活動を進めていくこと。

- **(3)革新性**

新しい社会的商品・サービスや、それを提供するための仕組みを開発したり、活用したりすること。また、その活動が社会に広がることを通して、新しい社会的価値を創出すること。

2008年4月に経済産業省が取りまとめた「ソーシャルビジネス研究会報告書」

地域福祉の今日的流れ

対象別から地域別へ

1. 基本的には日本の社会福祉の関係法は対象別にできている。
2. 2000年社会福祉法に明記：「地域福祉の推進」
3. 中央集権 → 地方分権
4. 地域保険（←職域保険） → 介護保険制度の保険者
5. 行財政改革

地域福祉化への流れ

施設サービス と 在宅サービス

- × 施設サービス
収容型（住まいを変える）
- × 在宅サービス
通所型、訪問型、入所型
→ 生活圏域（中学校区）（30分以内）

地域福祉とは、

- × 地域住民が主体となって社会福祉を考え、実行すること。
- × 地域福祉は、固定された「内容」ではなく、内容をたえず作り変えていくための「方法」になってきた。

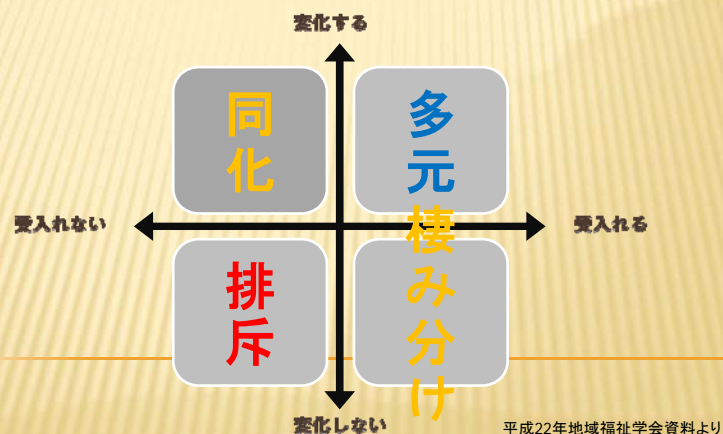
地域づくりとは、

- × 地域住民の主体性の形成が最も重要である。
- × 地域のいまを見つめて、地域に人が存在し続ける（関与し続ける）あり方を地域におくこと。

→ そこに生きる使命感、覚悟

CBR（CBID）と何がちがうのか？

○例えば地域はこんな動き方をする（1）。



CBR（CBID）と何がちがうのか？

○例えば地域はこんな動き方をする（2）。

「やさしい街づくり」は、みんなにもやさしい。（松本市HPより）

1. 障がい者（身体・知的・精神）・・・23,878人

+2. お年寄り（75歳以上）・・・30,855人

+3. 子ども（8歳以下）・・・20,327人

+4. 外国人・・・4,089人

23,878人（10%） → 79,149人（33%）

CBR（CBID）と何がちがうのか？

○例えば地域はこんな動き方をする（3）。

長野県安曇野市社協の地域福祉活動計画特徴

○400の生活課題から始めたこと。

○旧5町村をベースにしていること。

○社協事業展開の中心にしていること。

○最初から主体者を明らかにして計画策定を進めていること。

○行政計画と一体化を図っていること。

CBR（CBID）と何がちがうのか？

○例えば地域はこんな動き方をする（４）。

高齢者対象通所介護事業所 年間ベースで60万円の赤字

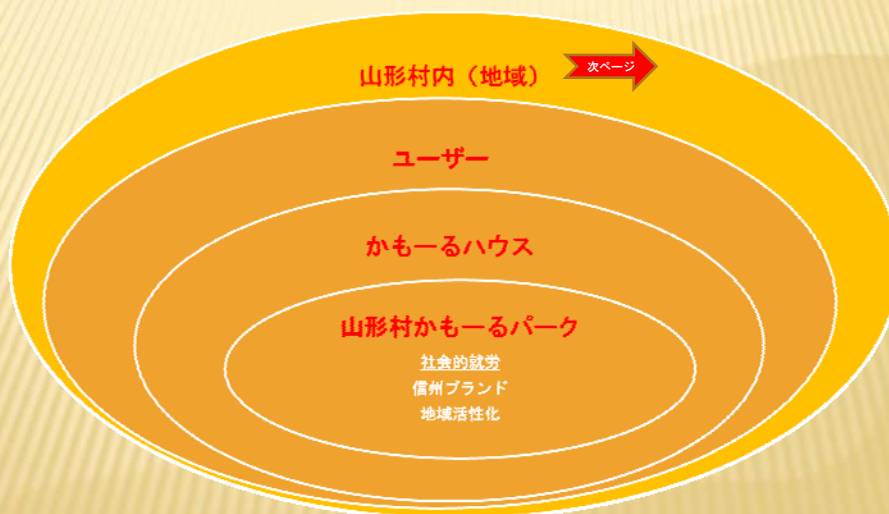
- ・利用率向上のため毎日利用者を週2～3日にして、リスクを避ける。
- ・遠いところからも利用者の送迎をして集客に努める。

介護経営重視型

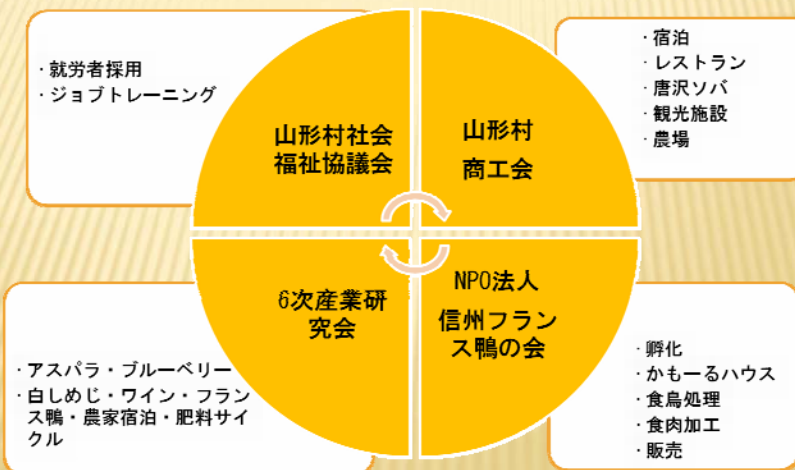
- ・関わっていると家族の状況、本人の希望が分かってくる。
- ・他の施設へ2～3日通ってもらうと言えない。
- ・事業所としての赤字解消できず、介護経営上疑問。

地域密着型

「山形村かもーるパーク」構想



「山形村かもーるパーク」構想 地域内



疑問（と想定）

- × **CBR (CBID) は目標値か？機能値か？**
 - ・ICF=環境要因でいいのか
- × **CBR (CBID) の実績評価は何か？**
 - ・広がっていくことでいいのか
- × **地域指標と個人指標の関係**
 - ・地域ごとの評価でいいのか

ご清聴ありがとうございました。

